

計画事業番号	00377	事務事業名	子どもの体力向上推進研究事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	----------------	------	----------	----	--------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成28年度						
〃 終了予定年度			個別計画等				
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	新規

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 4) 健やかな体を育てる教育の充実	
2 対象	市立小学校の1年生	
3 目的と内容	全国体力、運動能力・運動習慣等調査等の結果を踏まえ、幼稚園・保育園・小学校・中学校と連携した体力、運動能力、基本的な生活習慣を育むための検討チームを立ち上げ、今後の施策の検討を行う。 義務教育9年間を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力の育成にむけた体育授業の充実や学校教育活動全体の充実(1校1実践等に対する支援の検討)を進める。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 検討チームの立ち上げ 小学校体育授業への外部講師の派遣
	29年度	前年度と同様であるが、 <ul style="list-style-type: none"> 検討チームの立ち上げ 小学校体育授業への外部講師の派遣

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
検討チームの開催3回 小学校体育授業のサポート	小学校体育授業のサポート	検討チームの開催3回 小学校体育授業のサポート		検討チームの開催3回 小学校体育授業のサポート		検討チームの開催3回 小学校体育授業のサポート	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価		平成28年度からの新規事業		
1次評価	現状継続	幼児期から小学校低学年における体育活動や基本的な生活習慣づくりの充実にむけた施策の検討を継続して行う。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			329		440		440		440	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	329		440		440		440	
	① 合計	329		440		440		440		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			1,169		1,280		1,280		1,280	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 授業時間数	目標値	383	383	383	383
		実績値	299			
	② 検討チーム開催回数	目標値	3	3	3	3
		実績値	0			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	次期幼稚園教育要領や次期小学校学習指導要領において、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成することが示されているため、本事業を公費で推進する意味合いは強い。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	専門的技能をもった外部指導者の指導により、児童の体力・技術や教員の指導力向上等が期待できる。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	今後の成果と課題の検証次第では、予算規模の拡充により更なる体力向上策となる余地がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	現状の予算は事業を実施する上での最低限の規模のため。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	-----------------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------